

別記様式(第6関係)

		担当課	上下水道部経營業務課
会議の名称	第2回鴻巣市上下水道事業運営審議会(下水道事業)		
開催日	令和 6年 7月 18日(木)		
開催時間	午前 10時00分 開会 ・ 午前 11時 50分 閉会		
開催場所	鴻巣市役所本庁舎4階大会議室		
議長(委員長・会長)氏名	会長 矢島 光男 副会長 山田 和幸		
出席者(委員)氏名(出席者数)	矢島光男(会長)、山田和幸(副会長)、熊谷直子、渡辺千鶴、笠原実、山下泰明、川上郁貴、羽鳥典行(8名)		
欠席者(委員)氏名(欠席者数)	吉田征人、日野努(2名)		
事務局職員職氏名	上下水道部長 中根 治人 経營業務課長 伊藤 正一 下水道課副参事 田中 希 下水道課主幹 篠澤 功 経營業務課主査 金子 淳子 経營業務課主事 岡野 美香	上下水道副部長 大堀 勝彦 下水道課長 田口 裕一 経營業務課副参事 矢澤 恭子 経營業務課主幹 原 健太郎 経營業務課主任 新井 正通	
傍聴の可否(傍聴者数)	傍聴可(傍聴者 0名)		
会議の内容	(次第) 1 開会 2 委員委嘱 3 事務局の紹介 4 前回の会議録について 5 質問書について 6 議題(1) 会長の選出について (2) 鴻巣市下水道事業経営戦略改訂版(素案)について 7 その他 8 閉会		
	(決定事項など) 次第に沿って事務局が説明を行う。 ◆次第2 委員委嘱について、公益財団法人埼玉県下水道公社の田島和彦氏の人事異動に伴い、後任として矢島光男氏を委員として委嘱する。 ◆次第4 前回の会議録について、市ホームページ(上下水道)で公開し、書面は市政情報コーナー(市役所、両支所)に設置したことを報告する。 ◆次第5 質問書について、回答内容を報告する。 ◆次第6 議題(1) 会長の選出について 会長に矢島委員を選出する。		

- ◆次第6 議題(2) 鴻巣市下水道経営戦略改訂版(素案)について(資料4, 5, 6) 事務局案を説明する。

審議委員からの質問、意見は以下のとおり。

【議題に対しての審議委員からの質問、意見】

- ◆次第6 議題(2) 鴻巣市下水道経営戦略改訂版(素案)について(資料4, 5, 6)

- 資料4・P32 人口減少に伴い、下水道使用者が減少すれば、使用しない管きょや施設が出てくるのではないか。施設の改築更新をするにあたり、使用する施設だけを選別するのはどうか。そのような計画や見直しはあるか。(委員)

- 特定地域で下水道管を完全に使用しない(下水道利用者が0になる)ことは現実的に起こりにくいため、使用しない下水道管や施設を廃止することは下水道事業の場合は難しい。(事務局)

- 下水道使用料が値上がりする場合は早めに周知してほしい。今の子どもたち世代への負担を増やさないでほしい。(委員)

- 下水道事業は受益者負担という下水道使用者から料金を徴収するという考え方にに基づき、適切な下水道使用料を徴収できるように業務を進めていく。周知も早めに行う。(事務局)

- 資料4・P43 汚水処理原価が高い理由はあるか。(委員)

- 汚水処理原価の算定に用いられる汚水処理費は、維持管理費と資本費(減価償却費等)に分類される。他団体と比較し本市の維持管理費は低い傾向であるが、資本費(減価償却費等)が高いため、汚水処理原価が高いと分析している。(事務局)

- 汚水処理費は今後減少する見込みなのか。(委員)

- 汚水処理費のうち、減価償却費は固定費であり、その主なものは下水管渠になる。現状は、耐用年数である50年を経過していないため、減価償却費が減少する要因はないと考えている。今後、耐用年数を経過し、減価償却費が減少しても、新規投資(施設の改築や管路の布設替え)を実施することで減価償却費の大幅な減少は見込めないと考えている。(事務局)

- 資料4・P2 下水道事業の経営戦略策定は総務省から求められているものなのか。(委員)

- 将来にわたって安定的に下水道サービスを持続していくために必要な計画として、策定が求められているものである。(事務局)

- 資料4・P36 農業集落排水事業とは何か。市が実施しているのか。(委員)

- 農業集落排水事業は、農村地域の水質保全を目的とし、市が実施している事業である。鴻巣市には4地区あり、地区ごとに処理施設を有している。(事務局)

- 農業集落排水施設を公共下水道に接続するメリットはあるのか。(委員)

- 公共下水道に接続し、流域下水道で広域的に処理することで、処理場の維持管理費等の削減が見込まれる。

○資料４・P59 一般会計繰入金の補助金は何に充てられているのか。(委員)  
→汚水処理費から下水道使用料収入を差し引いた収支不足に充てられている。(事務局)

○資料４・P58 内部留保資金が確保できているが、健全な事業運営がなされているのか。(委員)

→令和４年度では約16.4億円の内部留保資金が確保できているが、今後の事業費の財源として一定額を確保する必要がある。健全な事業運営を行うために、現在は繰入金により純利益を確保するなどして、事業運営に努めているところである。(事務局)

○資料４・P52 農業集落排水事業を公共下水道に接続する場合、その排水は流域関連公共下水道で処理するのか。(委員)

→公共下水道に接続した場合は、流域関連公共下水道で処理することになる。(事務局)

○資料４・P52 環境への配慮について、下水道の処理によって発生する副産物を有効活用する事例はあるか。(汚泥の飼料化、ガス発電、下水で水力発電)(委員)

→本市では処理場を持っていないので、本市ではそのような取り組みはない。

(事務局)

→埼玉県では、資源を有効活用する取り組みを行っている。例えば、メタンガスによる発電、汚泥から農業用肥料(リン)の抽出を実施している。(委員)

○資料４・P34 使用料収入の見通しは示してもらったが、支出の部分として、今後の維持管理や投資にかかる費用をグラフ化して見せられるといい。(委員)

→今後の維持管理費用などは、グラフなど見やすく表示して、示すようにする。

(事務局)

○資料４・P18 施工年度不明の箇所について、資料(素案18ページ)下段の「※」にあるように施工年度は平成元年という認識か。(委員)

→施工年度不明箇所は川里の工業団地の敷設と考えている。川里地域は今後、ストックマネジメント計画に基づき、令和27～30年度に管路調査を行う。施工年度は今後の調査で明らかにする。(事務局)

○資料４・P41 経営指標を本市は棒グラフ、他団体は折れ線グラフにしている。見づらいと思うが、このような表記にしている意図はあるか。(委員)

→本市の状況を強調するため棒グラフとしたが、経年による変化が他団体と比較しづらいので、棒グラフから折れ線グラフへの変更を検討する。(事務局)

→経営戦略改訂版は公表するにあたり、モノクロで改訂版を確認する場合も考えられる。そのため色の識別だけでなく、グラフのマーカーの形を丸や四角に変えるような視覚的な変化があるといいのではないか。(委員)

→見やすくなるよう表記を検討する。(事務局)

	<p>○資料4・P52 下水道の環境への配慮として、省エネ、スマートグリッド（次世代エネルギー）が考えられるが、下水道部門とエネルギー部門ですり合わせを行っているか。（委員）</p> <p>→下水道事業に適したエネルギーの設備や活用は今後検討する。（事務局）</p> <p>○汚水処理費を今後下げる方策は検討しているか。たとえば、PPPや維持管理費の削減、建設費の削減ならば、入札制度の見直しなどの具体的な事例を市では検討しているのか。（委員）</p> <p>→費用削減は経営戦略策定の中で検討していく課題である。次回の審議会で提示する予定である。（事務局）</p> <p>○下水道に接続していない世帯に対して、下水道の普及促進活動は行っているのか。（委員）</p> <p>→市では、下水道の普及促進活動として戸別訪問や手紙による通知を行っている。（事務局）</p> <p>→下水道の接続費用は高額なため、接続になかなかつながらないのが実情である。（委員）</p> <p>→一般市民からすると、浄化槽がまだ使用できるのに、公共下水道につなぐことはもったいないと感じる。（委員）</p> <p>○資料4・P47 職員11名は少ないのではないか。また各職員の役割や分担についてはどのようにになっているのか。（委員）</p> <p>→公共下水道事業に配置されている職員は経營業務課と下水道課で11名である。経營業務課は下水道経理担当である。また、下水道課は3つの担当に分かれている。1つ目は下水道の今後の整備や維持管理を検討する計画担当、2つ目は工事発注を行う工務担当、3つ目は現状の下水道の維持管理を行っている普及促進担当である。（事務局）</p> <p>→素案の29ページに組織についての説明があるので参照されたい。（事務局）</p> <p>○本市の不明水の割合はどれくらいか。（委員）</p> <p>→不明水は処理場への流入水量の2割程度である。令和4年度の有収率は80.6%である。素案の41ページに有収率について記載している。（事務局）</p> <p><b>【連絡事項】</b></p> <p>◆第3回鴻巣市上下水道事業運営審議会(水道事業)は令和6年10月8日(火)午前10時から行うこととした。</p>
配布資料	<p>次第</p> <p>資料1 第1回審議会 公開用会議録</p> <p>資料2 諮問書（写）</p> <p>資料3 委員からの質問書</p> <p>資料4 鴻巣市下水道事業経営戦略改訂版（素案）</p> <p>資料5 鴻巣市下水道事業経営戦略改訂版（素案）新旧対照表</p> <p>資料6 鴻巣市下水道事業経営戦略改訂版（素案）について（説明資料）</p> <p>資料7 委員名簿</p> <p>資料8 会議質問書</p>

注 会議の内容の欄は、主な意見や質疑内容を交えて概要を記入し、記入事項が多い場合は、別紙に記入するものとする。